

## 編集委員会便り

本誌では、エネルギーと資源に関わる特定のテーマを取り上げ、特集記事を組んできた。本号は、この通例を打ち破った企画となっている。劈頭の座談会が象徴的に示すように、地球規模の環境問題が憂慮されるようになって、エネルギー問題は南北問題の様相を呈し、解決策が1つには定まらない状況となっている。先月号の特集「アジアのエネルギー情勢と環境問題」を見て頂くと、問題の深刻さがよりはっきりしよう。この複雑な情勢を踏まえて、編集委員会は各界の識者に自由な視点から、エネルギー・環境・資源の問題を一度論じて頂いてみたらどうかと考え、企画したのが本号である。

自由な随想の中から、私たちが日頃見落している視点や将来の政策、技術開発のヒントが得られるのではないかというのが期待するところであった。幅広い分野からの意見を頂くべく、編集委員の全員から大凡20

～30才、40～50才、60才以上と思われる年齢層の方々から適任者の推薦を頂き、執筆者の選定と依頼を行った。どうしても男性が大勢を占めがちとなるため、極力女性群の中から執筆者を選定するような努力も行った。結果はどうであろうか。お忙しい中を心よく原稿をお寄せ頂いた執筆者の方々に感謝するとともに、皆様からの忌憚なき批判をお聞かせ頂きたいと思っている。

近い将来、さらに一步進めて、編集委員会が執筆者を選定するのではなく、読者の方々からの自発的投稿を頂いて、一層とらわれない立場からの意見を集めた特集を組みたいと準備中である。皆様の積極的な参加を願っている。

吉 田 邦 夫

(東京大学工学部化学システム工学科 教授)

